

取材先	朗読ハウスもがも家		
企画名	テーマ朗読会『文豪』		
備考			
取材日	2019年6月23日(日)天候[晴れ] [13:30~17:00]	取材地	ポラリス

レポート

朗読ハウスもがも家は、声優やナレーターなどプロで活躍されている代表の田丸氏が、朗読の楽しさ、面白さを発信し技術の向上につなげ、地域の発展に貢献することを目的とし活動をしています。関門医療センター図書室での朗読会や老人施設に訪問し時には衣装もお話に合わせて着替え、動く朗読会もしています。

今回は、毎月行われる「テーマ朗読会」に参加してきました。毎月テーマを決めてテーマにちなんだ本を紹介しあう朗読会です。『文豪』では「漱石先生の手紙が教えてくれたこと」「耳なし芳一」「注文の多い料理店」「カリスマシェフは短編料理でショーブする」「清兵衛と瓢箪」「和菓子を愛した人たち」などが紹介されました。夏目漱石は250通の手紙を書いており、それも短文ではなく長文だったことや、「雨ニモマケズ」は宮沢賢治が生前手帳に書き残していたもので世に出すつもりもなく賢治の死後出されたこと、などエピソードを交え話されました。学校図書館司書をされている参加者の方はこの会を学校で出来るようにしたい、と言われていました。

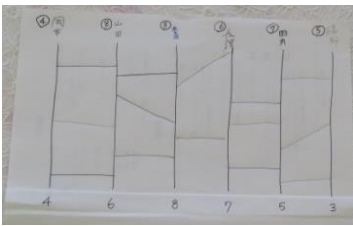
最後に代表の田丸氏は、今のこの活動を継続していきたいこと、テーマ朗読会では初対面の人たちばかりの参加で開催してみたいことなど、今後について語られました。

私も本を持って参加しましたが、みなさん本に関わっている方が多く物知りなのにびっくりしました。とても勉強になり、面白く楽しい時間でした。

状況写真



代表の田丸氏



順番決め



本好きの義理の息子さんと参加



手作りケーキでひと息

